

道の駅整備事業

年表

「中止」に至るまで

平成 24 年（2012 年）

2 月 市最上位計画「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に道の駅設置と牛久沼の有効活用を掲載

平成 27 年（2015 年）

11 月 「龍ヶ崎市道の駅基本構想」策定

平成 29 年（2017 年）

2 月 「龍ヶ崎市道の駅基本計画」策定

平成 30 年（2018 年）

9 月 道の駅護岸改修工事 発注

平成 31 年・令和元年（2019 年）

1 月 道の駅護岸改修工事 一時中止

12 月 不測の埋設物 発覚
道の駅開業時期の延期決定（開業時期未定）

令和 4 年（2022 年）

1 月 萩原市長 就任

4 月 道の駅整備事業の「再検証」開始

令和 5 年（2023 年）

3 月 地域振興施設を縮小した道の駅を整備する方向性公表

6 月 牛久沼越水
道の駅整備事業は一旦立ち止まり、牛久沼の治水・安全性の確保を最優先に取り組む

11 月 「市議会議会報告会・意見交換会」において、道の駅の方向性等について、市民の皆様と意見交換を行う

12 月 茨城県が設置した「牛久沼越水対策検討委員会」の検証結果 公表



▲道の駅整備予定地から不測の埋設物が発覚する



▲議会報告会・意見交換会の様子（令和 5 年 11 月）

12月

「龍ヶ崎市道の駅整備事業に関する要望書」を市長に提出

市議会では、道の駅整備事業に関する執行部からの説明内容や関係資料などを踏まえ、地域資源としての牛久沼活用のあり方、その中で道の駅整備事業の必要性、実現性や持続可能性、費用対効果、市の財政収支見通しなど、幅広い視点で検討し、さらには議会報告会・意見交換会を開催し、そこで寄せられた声も含め市民の皆さんの意見を基に、今後進むべき方向について議論を重ねてまいりました。

そして、令和5年12月、市議会は「龍ヶ崎市道の駅整備事業に関する要望書」を市長に提出し、道の駅整備事業については事業の中止も含めて、適切な判断を求めることを要望しました。



◀要望書の内容については
こちらからご覧ください

令和6年（2024年）

2月

市長が道の駅整備事業の「中止」を決定

今後の牛久沼の活用について

龍ヶ崎市は、龍ヶ崎市及び牛久沼周辺市町、茨城県、関係団体により、牛久沼の持つポテンシャルを高め、周辺地域の魅力向上、交流人口の拡充や地域経済の活性化を促進させるため、「牛久沼活用推進協議会」を設立しました。

そして今後は、「牛久沼周遊ルート」を活用し、それぞれの地域や団体が持ち合わせている資源を有機的につなぎ合わせた活性化策などを展開していくこととしています。

市議会としましても、大切な地域資源の一つである牛久沼の活用について、引き続き、議論を進めてまいります。

